

入ゼミ試験問題（B日程）
慶應義塾大学経済学部 尾崎裕之
2016年3月24日

以下の両問に解答すること。

（1）戦国時代のことである。北近江の戦国大名、浅井長政と、その妻、市の方（織田信長の妹）の間に、茶々、初、江と、連続して女の子が3人生まれた。次の子も女の子である確率は「ベイズ統計学的には」どれだけか。なお、まだひとりも子供が生まれていない状態で、彼らから女の子が生まれる確率は一様分布に従うものと仮定する。（これは、戦国時代においては深刻な問題である。男子を産まない女子は平気で離縁された。）

（2）浅井長政と市の方の娘である、茶々、初、江、いわゆる浅井三姉妹（あざいさんしまい）について、知っていることを全部書け。

以上